都市再生整備計画の目標及び計画期間

| 都道府県名 | 鹿児島県 | 市町村名 | 鹿屋市 | 地区名 | 天神古江地区 | 面積 | 480 ha |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 計画期間 | 平成 29 年度 ～ 平成 30 年度 | 交付期間 | 平成 29 年度 ～平成 30 年度 |
|---|---|---|---|

目標

**「いつでも訪れやすいまち」の実現に向けて、官民連携により新たな大隅半島観光交流拠点の形成を目指す。**
**①学校跡地を活用した新たな交流拠点の形成を目指す。**
**②日本でも有数の景観を誇る錦江湾海岸の魅力を五感全てで満喫（体感）できる新たな視点場の形成を目指す。**

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・当該地区は、鹿屋市街地の西部に位置し、美しい海岸線を持つ温暖な気候に恵まれた農業・漁業を中心とする地域であるが、小学校の廃校や人口減少及び高齢化の進行が著しく、過疎化地域となっている。

・廃校となった菅原小学校は、三方を海に囲まれ映画「チェスト」のロケ地にもなった風向明媚なところで、近くに、神秘的な風景が味わえる荒平天神や終戦後間もなく米進駐軍が上陸した金浜海岸など多くの景観・観光資源を有しており、鹿児島市や霧島市などの本県主要観光地と本土最南端佐多岬を結ぶアクセス道路に彩を沿え、観光客の目を楽しませているエリアにある。

・鹿児島県では、「しおかぜ街道」として錦江湾沿岸の景観整備を地元の自治体や町内会等と連携しながら計画的に進めており、その一環として、本土最南端佐多岬へのアクセス道路にもなっている当地域の海岸線一帯を「鹿屋しおかぜ街道」として整備することとしている。

・日本で唯一の国立体育大学である鹿屋体育大学があり、1年間を通じてスポーツ合宿やスポーツ大会が数多く開催されている。本市の平成27年度合宿者数は県内一となっている。

課題

・他の地域に先行しての人口減少・高齢化が進む当地域のコミュニティの維持・活性化のためには、人口減少に歯止めをかけ、一定程度の定住人口を維持するとともに、交流人口の増大を図ることが必要である。
・魅力的な観光資源を活用するためには、観光客の滞留を促す交流拠点の整備・拡充が必要である。
・厳しい財政事情の中で拠点整備を実現させるためには、官民連携による施策の推進が必要である。

将来ビジョン（中長期）

「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標のひとつに、「いつでも訪れやすいまちへ」を定め、大隅の観光資源のブラッシュアップや全体をマネジメントする体制を構築することで、「自然」、「戦争遺跡」、「食」を活かし、また、本区域への宿泊施設等の設置による交流人口の拡大を図り、大隅地域全体での海岸線エリアの魅力アップに取組むなど、さらなる観光地づくりを行うこととしている。
・鹿屋市都市計画マスタープランでは、「錦江湾沿岸は、広域的な観光ルートに位置づけられており、観光地や観光資源等へアクセスする良好な道路空間や沿道環境の形成を図る」こととしている。

目標を定量化する指標

| 指　標 | 単　位 | 定　義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 基準年度 | 目標値 | 目標年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宿泊施設（合宿）等の年間利用者数 | 人／年 | 宿泊施設等の延べ人数 | 南大隅地域に接続する国道沿いの小学校の整備により、天神古江地区の宿泊者数等の増を図る。 | 0 | 28 | 10,000 | 32 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |